

令和8年（2026年）9月3日

国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）を受賞しました

国土交通省では、健全な水循環、資源・エネルギー循環等を創出する「循環のみち下水道」に関する優れた取り組みを、国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」として平成20年度から毎年表彰しております。

この度、令和8年度から取り組んでいる河内長野市と本市との公共下水道施設の維持管理における包括的民間委託の共同発注の事例が令和8年度（第19回）国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）アセットマネジメント部門を受賞しました。

今後は両市での連携をさらに深め、下水道事業の安定的な運営、財政負担の抑止、市民サービスの向上に努めてまいります。

令和8年度（第19回）国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）

アセットマネジメント部門

大阪狭山市・河内長野市公共下水道施設の包括的民間委託の
2市共同発注（全国初）

大阪狭山市・河内長野市

受賞事例の概要

下水道施設の老朽化と職員不足という共通課題を抱えている状況で、全国初となる2市共同発注による「水の官民連携」(ウォーター PPP) レベル3.5を導入した包括的民間委託により、官民連携と広域化との融合による持続可能な下水道経営モデルを構築した。



PRポイント！

1. 「全国初」の広域的官民連携（モデル性）
2. 「レベル3.5（更新実施型）」による経営の強靱化
3. 構造的な「人手・技術不足」への最適解
4. 「持続可能性」という共通目的の達成

取組による期待される効果！

1. 職員の技術力維持・向上
・共同モニタリングにより2市の情報共有を実施
2. 広域連携の高度化
・共同検討、共同発注の実施により、広域連携ノウハウを獲得し更なる連携強化に貢献
3. サービス品質向上・業務の効率化
・統括管理業務等のコア業務における要求水準を統一
・2市での配置技術者の兼務や資機材の共通化を規定
4. 災害対応力向上
・災害対応を見据え、2市及び受託者との三者による情報共有
5. 委託費の低減
・共同発注によるスケールメリットを拡大

Key Person



最大かつ唯一のハードルは、先行事例のない「2市共同」による発注仕様の策定でした。施設状況やルールが異なる中、「自市のやり方」を互いに譲歩しました。維持管理と更新を一体化する「レベル3.5」の仕様策定は困難を極めました。妥協のない議論が2市の絆を深めました。結果、業務整理だけでなく、互いに知見を共有する「広域的な学習組織」へと成長できたことが最大の収穫です。
現在は、2市共同のモニタリングや検討会、技術研修会等を実施しています！

（令和8年度循環のみち下水道賞パンフレットより抜粋）
問い合わせ 下水道・水路グループ（担当／溝端） ☎072-366-0011